

# 学界情報

## The 34th Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society: IECON 2008 November 10 - 13, 2008, Orlando, Florida, U.S.A.

2008年11月10日から13日までの4日間、アメリカ合衆国フロリダ州オーランド The Florida Hotel & Conference Center において IECON2008 が開催された。IECONはIEEE Industrial Electronics Society 主催の国際会議の中で最も大規模で主要な会議であり、今年で34回目の開催となる歴史の長い国際会議である。また今回は、The 2nd IEEE International Conference on E-Learning in Industrial Electronics (ICELIE 2008)との合同開催というこれまでにない新しい試みが見られた。

本会議では、11月10日から12日までの3日間でTutorials, Keynote Speech, Technical Paper Sessions, Panel Discussions が行われた。そして、Society Technical Committee Meetings と Society AdCom Meeting が本会議の開催期間中に行われた。

本会議に採択された584件の論文のうち、429件の論文がオーラルセッションにおいて発表され、残りの155件がポスターセッションにおいて発表された。中でも特筆すべきは、本会議では主要な7つの論文分野に関するセッションに加えて、様々な専門的トピックに関するスペシャルセッションが20セッションも企画され、活発な議論が行われたことである。このことは、本会議等において（我が国では電気学会産業応用部門等において）長年に亘り多くの研究者によって議論が重ねられてきたパワーエレクトロニク



写真3 Conference Banquetの様子

スやモーションコントロールをはじめとする学問が著しく発展し、その学問領域が今日では様々な産業応用分野へと拡大し、大きく貢献しているという事実を示唆している。

本会議2日目である11日には、昼食時にIEEE Undergraduate Teaching Award 授賞式が行われ、Prof. Muhammad W. Rashid に授与された。その後、トヨタ自動車株式会社代表取締役副社長である瀧本正民氏より、ハイブリッド技術とそれに基づいたエネルギー問題や環境問題に対する取り組みについて、“Toyota's R&D Activities for Realizing Sustainable Mobility”と題してKeynote Speechが行われた。11日晩にはConference Banquetが催され、IEEE IES 各賞の授賞式も同時に執り行われた。

以上のように、General Chairsの一人であるProf. John Y. HungをはじめとするCommittee Membersによる運営努力のお陰で、今回のIECONは各セッションや基調講演等において多種多様なトピックに関し非常に濃い議論が行われとても充実した国際会議となったばかりでなく、教育、エネルギー問題、環境問題といった山積した将来課題について深く考えさせられる国際会議であった。最後に余談であるが、本会議のProceedingsはレーザポインタ機能付きUSBメモリとして配布され、多くの参加者からこの配布方法は名案であったとの声がかかった。

次回のIECON2009は、2009年11月3日から6日までの日程で、ポルトガルのポルト市で開催される予定であり、The 3rd IEEE International Conference on E-Learning in Industrial Electronics (ICELIE 2009)との合同開催が企画されている。

下野 誠通〔慶應義塾大学〕  
(平成20年12月5日受付)



写真1 IEEE Undergraduate Teaching Award 授賞式



写真2 瀧本正民氏によるKeynote Speech